

## 北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会 議事録

1 日 時 平成 31 年 4 月 15 日 (月) 10 : 30 ~ 11 : 10

2 場 所 北海道庁別館地下大会議室

3 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり

4 協議事項

- (1) 豚コレラ・アフリカ豚コレラへの対応について
- (2) 高病原性鳥インフルエンザへの対応について
- (3) その他

(開 会)

### 【立花食の安全推進局長】

- ただ今から、「北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会」を開催する。
- 本日の進行を担当する食の安全推進局長の立花でございます。
- はじめに、農政部 甲谷食の安全推進監から御挨拶申し上げます。

(挨 拶)

### 【甲谷食の安全推進監】

- 本日は、年度初めのお忙しい中お集まりいただき感謝。全庁各部の皆様、そしてオブザーバーとして、農政事務所、開発局、環境省、動物検疫所、北部方面地方総監部の方に御出席をいただいている。
- 毎年、この時期に警戒本部幹事会を開催しており、昨年この時期は高病原性鳥インフルエンザの警戒本部幹事会を開催。
- 皆様もご承知のとおり、昨年9月に国内で豚コレラが発生し、4月10日現在、19例まで拡大しているところ。また、昨年8月以降、中国において、アジアで初めてのアフリカ豚コレラの発生が確認され、中国全土に拡大し、さらに近隣の諸国にも広がっているという事態が発生しており、道内への豚コレラ・アフリカ豚コレラの侵入リスクが極めて高いということで、昨年末に鳥インフルエンザに加えて、豚コレラ・アフリカ豚コレラ、口蹄疫を含めた海外悪性伝染病の警戒本部とさせていただき、警戒本部自体は常時設置されている状況である。
- この時期に幹事会を開催するのは2つの理由があり、1つは人事異動を迎えて体制が新しくなったということで、改めてそれぞれ確認していただくということ。もう1つは、鳥インフルエンザに関して、ゴールデンウィークの終わりぐらいまで渡り鳥のシーズンを迎えており侵入リスクが高いということで、この時期に必ず開催させていただいている。

- 人事異動に関しては、今年は道において6月にも大きな異動がある。例年は4月に指揮室設置訓練を行っているが、今年は6月に新しい知事の下で訓練を開催する予定になっている。
- 本日は、担当の方から、豚コレラ・アフリカ豚コレラと高病原性鳥インフルエンザを中心に、現在の発生状況や取組、万が一発生した場合の対応などについて御説明させていただく。
- 2つの点でしっかり共有したいと思っているが、1つは侵入防止に向けてそれぞれの立場で何か出来ることはあるかどうかということ、2つ目は、万が一北海道で発生した場合に皆様のお力をいただきながら迅速に対応するということである。
- 皆様と一緒に、しっかりと関連産業を守っていきたいと思っているので、今日はよろしくお願ひ。

### 【立花食の安全推進局長】

- 資料の確認。
- 協議事項（1）豚コレラ・アフリカ豚コレラへの対応について、農政部から説明願う。

（協議事項（1）豚コレラ・アフリカ豚コレラへの対応）

### 【農政部畜産振興課 山口家畜衛生担当課長】

- 豚コレラ・アフリカ豚コレラへの対応について資料1に基づき説明。
- 豚コレラの発生状況について、養豚場では4月になっても発生が継続し、終息の兆しがなかなか見えないという状況。国及び関係県においては、野生いのししを介した豚コレラウイルスの拡散防止対策として、経口（餌）のワクチンの散布を3月より開始しており、今後、複数回散布を実施し、ワクチンの有効性の効果についても調査していくこととしている。
- アフリカ豚コレラについて、万が一発生すると、畜産業や北海道の食のブランドを揺るがしかねないということで、非常に危機感を持っているところ。
- 日本への侵入経路として一番懸念されるのが、中国やベトナムなどの発生国の旅客が不正に持ち込む豚肉。実際に昨年10月の新千歳空港でのアフリカ豚コレラウイルスの遺伝子確認以降、4月12日の最新情報では、28件で遺伝子陽性が確認されている。特に1月12日に中国から持ち込まれたものには生きてウイルスが確認されており、既にウイルスの国内侵入リスクが高い状況となっている。
- 発生未然防止に向けた取組として、前回の幹事会から追加されたものとして、早期通報義務を伴う特定症状が規定された。道としては養豚場などに

特定症状などの周知を図るとともに、早期通報について改めて指導をしたところ。

- 15 ページに豚コレラの初動対応が記載されているので、流れを把握し、万が一の時には対応していただきたい。また、13、14 ページには動物検疫所からのお知らせを載せているが、4月22日より海外からの肉製品の違法な持ち込みへの対応を厳格化するとしており、実際に大使館を通じて周知している結果、探知犬による摘発が減少しているようである。強化は水際防疫でも効果があると思うので、今後も連携しながら取り組んでいく。
- 鳥インフルエンザの防疫対応マニュアルを基本に、豚コレラの防疫マニュアルについて、本年5月末をめどに改正作業を行っているので、今後意見を伺うことがあるかと思う。鳥インフルエンザと大きく異なるのは殺処分で、豚の殺処分は原則獣医師が行う。

#### 【立花食の安全推進局長】

- 以上の件について、質問をお受けする。

－質疑なし－

#### 【立花食の安全推進局長】

- 協議事項（2）高病原性鳥インフルエンザへの対応について、まず家きんの関係を農政部から説明願う。

（協議事項（2）高病原性鳥インフルエンザへの対応）

#### 【農政部畜産振興課 山口家畜衛生担当課長】

- 資料2-1に基づき説明。
- 防疫訓練・演習について、今年度は、本庁では6月の人事異動後の新体制で対策本部指揮室設置・運営訓練を行う予定で、各振興局においても訓練等が実施又は予定されている。
- 今後は、庁内関係部局との情報共有を図るとともに、家畜保健衛生所による家きん飼養農場の立入検査を行い、発生の予防とまん延防止を徹底する。
- 防疫演習動画等関連資料を共有ファイルに保存しているので、改めて見てもらえればと思う。

#### 【立花食の安全推進局長】

- 続いて野鳥の関係について環境生活部から説明願う。

**【環境生活部生物多様性保全課 竹本動物管理担当課長】**

- 資料2-2に基づき説明。
- 簡易検査は、簡易キットによるA型ウイルスの可能性の検査で、病原性の検査ではないため、簡易検査で陽性であっても、病原性の検査である確定検査で陰性となる事例が多く見られている。
- 野鳥は3月から5月に北海道を通過して北上するため、環境生活部としては警戒心を持って監視を継続する。
- 今年度検査した死亡野鳥の状況について添付しているが、オオハクチョウが多くなっており、12月がピークで、4月が2番目に多くなっている。

**【立花食の安全推進局長】**

- ただいまの件について質問をお受けする。
- 野鳥のサーベイランスの成績と家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生は、リスクを見ていくと同じような動きをしていることが分かると思う。私たちは、サーベイランスの成績を注視していくことが大事である。

－質疑なし－

**【立花食の安全推進局長】**

- それでは、協議事項（3）その他について、農政部から説明願う。

（協議事項（3）その他について）

**【農政部畜産振興課 横田主幹】**

- 近隣諸国における口蹄疫の発生状況について参考資料に基づき説明。
- 中国、モンゴル、ロシアを中心に各国において発生が認められている状況。また、韓国では2019年1月にアンソン市の牛飼養農場で2018年以来約8ヶ月ぶりとなる口蹄疫の発生が確認されている。
- 近隣諸国の発生状況を踏まえると、口蹄疫の国内への侵入リスクが高い状況が続いていると言える。幸い国内での発生は認められていないが、この状況を踏まえ、畜産農家を含む畜産関係者に対して飼養衛生管理徹底や早期の発見について指導等しているところ。引き続き侵入防止に万全を期すとともに、これからゴールデンウィークの時期を迎え、人やモノの往来がいつそう

激しくなるということで、各部局で取り組まれている事業において伝染病の侵入防止に係る対応事項があれば、引き続きの御協力をお願い。

**【立花食の安全推進局長】**

- ただいまの件について質問をお受けする。

－質疑なし－

(挨拶)

**【甲谷食の安全推進監】**

- 本日御説明したとおり、それぞれの病気に関して非常に侵入リスクが高い状況となっている。
- 是非御協力いただきたい2つのこととして、1つは侵入防止に向けてまずは絶対に入れないというところで、各農場は衛生管理を頑張っている中で、道民や観光客一人一人が、それぞれの立場で、もしかしたらここをこういう風にするれば侵入リスクが下がるかもしれないとか、それぞれの広報ツールの中で、観光振興機構が中国語のホームページの中でも注意喚起をしてくださっているように、何かリスクを下げられるような工夫やアイデアがあれば、ぜひ畜産振興課にお話をいただければと思う。2つ目は、絶対に病気を入れないという強い意志の下でやっているが、万が一北海道で発生した場合は、迅速に皆様方の御協力をいただきながら確実に封じ込め、一連の作業をきちんと行い、2番目の事例は絶対に出さないことが重要。
- 食のブランドを誇る北海道だからこそ、やれることをしっかりやって、緊張感を持って対応していきたい。まさかは必ずやってくるということで、それぞれのマニュアルや役割を確認して備えていただければと思う。

**【立花食の安全推進局長】**

- これをもって北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会を閉会する。